



府中市生涯学習センター 平成28年度第3期教養講座
NO. 5 生涯学習ボランティア「悠学の会」企画



府中の魅力再発見講座

“馬が語る府中”

(講座のねらい)

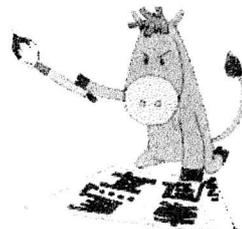
府中は武蔵国の国府が置かれた古代より、多摩の中核都市に発展した現在まで、「馬」と深くかかわってきました。府中のシンボル「馬場大門櫓並木」や「大國魂神社くらやみ祭」は、その歴史を今に伝えています。また、東京競馬場はすでに83年の時を刻み、府中市民に親しまれています。全4回の講座では、このような府中の歴史の魅力を、「馬」を通して学んでいただけるように企画しました。



講座日程 (会場は府中市生涯学習センター2階 講堂)

No.	日時	テーマ/内容	講師
第1回	10月6日(木) 14:00~16:00	馬にちなむ伝統・史跡、馬のいる風景 街のイベント、風景、碑を現地を訪ね、映像・画像を交えて、馬と府中のかかわりの歴史を紹介	悠学の会 プロジェクトチーム
第2回	10月13日(木) 14:00~16:00	府中と馬 - 古代から中世まで くらやみ祭の競馬式(こまくらべ)・流鏑馬式(やぶさめ)を入口に、古代・中世の国府をめぐる儀式や交通、牧の存在から馬との深い関わりを考察・紹介	小野 一之氏 (府中市郷土の森博物館・館長)
第3回	10月20日(木) 14:00~16:00	府中馬市の中絶と再興 家康が大坂の陣に出陣する際に馬を買い求めたと伝えられる府中の馬市の、中絶と再興の経緯を紹介	花木 知子氏 (府中市郷土の森博物館・学芸員)
第4回	10月27日(木) 14:00~16:00	日本競馬の歴史 現在行われている近代競馬の日本での歴史は150余年。江戸時代に始まった日本競馬の経緯・歴史を紹介 府中と東京競馬場 昭和8年に開設された東京競馬場。府中市と東京競馬場のかかわりを紹介	荒井 潤氏 (公益財団法人 馬事文化財団・専門役) 中山 登己彦氏 (JRA 東京 競馬場・総務課長)

受講料：2,000円 定員：290名(先着順)
申込先：府中市生涯学習センター講座受付窓口
Web：<http://fuchu.shogaigakushu.jp/>
TEL：050-3491-9849



番外編として、受講者を対象に東京競馬場の見学・体験会を予定しています。
日程 11月6日(日)及び13日(日)の2日間、定員70名、無料(JRA東京競馬場主催)
(詳細は裏面、参加希望者は第1回受講時に申し込んでください。)

